

1. 学校の教育目標

言語化することのメリットと必要性を教職員が十分に理解し、言語化によって得られた成果を教育・学校運営・地域への発信等、学校のあらゆる活動分野の中で活かす。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

具体的な行動目標

- ・教職員は、いつでも、誰に対しても、曖昧さをできるだけ払拭した言葉による正確な表現、わかりやすい表現、相手に伝わる表現をするよう努める。
- ・各人・各所（学科・部会・委員会等）から挙がってくる意見・方針・提案などを誰もがまずは受け止め、それについて自由闊達な議論・話し合いができるよう工夫する。
- ・いつでも「誰のために、何のために」を念頭に置いて発言し、議論する。分からないことを分からないままにしない。結果を踏まえて次の行動プランを具体化し、実行に移す。
- ・率直な議論が安心してできる環境づくりに努める。
- ・学生が自らを安心して表現できる環境（言語的表現および非言語的表現）を意識的に作り、学生の言語能力を伸ばす。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④3 2 1	・学校の理念・目的・育人人材像は学生便覧、パンフレット、ホームページに記載し、学生に対してオリエンテーションや授業など様々な機会周知している。 ・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、保護者や地域に対して学校の考えを周知する機会を持つことができた。 ・保護者出席のもと、入学式卒業式を開催した。卒業式は3年ぶりに来賓出席のもと、通常通りの開催ができた。また、入学式後の保護者説明会も開催し、本校の教育目標及び方針について説明することができた。 ・9月に対面による保護者会を3年ぶりに開催することができたが、参加者が少なかつたので今後はオンラインでの開催も検討していく。 ・学生及び保護者に対して随時個別面談を行っている。 ・引き続き、理念や教育目標について保護者に理解を促し、学校と保護者が共通認識を持って学生を育成していけるような新たな取り組みも考えていく必要がある。
・学校における職業教育の特色は何か	④3 2 1	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	④3 2 1	
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④3 2 1	
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④3 2 1	

(2) . 学校運営

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④3 2 1	・毎年、法人として事業計画を立てて、それに沿って運営している。諸規定により、意思決定機能が明確化されている。 ・業界とは教育課程編成委員会と学校関係者評価委員会及び各業界団体への参加により、よりよい活動を目指している。 ・学校評価については、2020年度に学則に記載した。 ・教育活動等の情報公開は、ホームページ、パンフレット、サンビダよりを通して行っている。また、10月に開催した陽の里まつり等でも教育活動を地域の方にも知ってもらうブースを設け、発信した。 ・学校概要、前年度自己評価・学校評価をホームページ上で公表している。 ・学校単位、各学科単位でのインスタグラムを運営し、学校の日頃の取り組みを学校内外に伝える取り組みを行っている。 ・今年度より教務事務支援システム、学生情報共有に関するITツールを稼働している。随時運用方法やシステムを見直し、改善に努めているが、全部の機能を職員が理解し、十分に活用できるまでには至っていない。 ・今後は、各部署からの意見を取りまとめDX化による業務の効率化と質の高い教育の実施を推し進める。電子黒板・スマートグラス・3D教材の活用等による教育の充実化を図る。 ・実務者研修においてはITツールを用いた業務効率化を進めている。
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④3 2 1	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④3 2 1	
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④3 2 1	
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④3 2 1	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④3 2 1	
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④3 2 1	
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4③2 1	

(3) . 教育活動

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④3 2 1	・教育内容、到達レベルについては学生便覧pp.6-9、およびシラバスにより明確にしている。また、学年の特性を踏まえ、授業時間の追加、補講等を実施し、到達目標レベルまで、引き上げるよう工夫している。また、見直しなどは、教職員の振り返り、学生面談のみならず学生アンケートを実施し、学生のニーズをも取り入れ実施している。また、教育課程編成会議にて説明をしている。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④3 2 1	・個別指導を学科で行っているが、場合によっては指導時間が長時間化することがある。 ・学生情報共有システムを活用し、効率的な指導を実施できるようにする。
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④3 2 1	・リハビリセンター白鳥の利用者評価・リハビリを定期的に行い、その経験を学生への実践教育に活用することができた。 ・国語力に課題のある学生に対し、すべての学科において個別で評価し、その対応を行っているが、学校全体として国語力向上に向けた体制を整備できていない。
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④3 2 1	・留学生の日本語教育および本校教員への助言を元中学校長で、在外日本語学校長経験者に依頼している。また、留学生への授業には日本語教師の資格を持つ教員が指導に入り、様々な視点から指導を行えるよう取り組んでいる。 ・介護福祉学科の留学生については、学外及び他学科の教員の協力も得ながら国語力向上を図っている。教職員会議等で学生の課題や方針について情報共有を行い、学科での個別対応を踏まえながらも学校全体で対応することができた。
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④3 2 1	・各学科で研究授業を行い、他教員が見学し、その後意見交換などを行っている。 ・授業見学の後の意見交換を行い、シートによる定性的評価を行っている。
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④3 2 1	・各学科で研究授業を行い、意見交換をしたが、授業評価に関する明確な規定はない状態である。また、年間に各学科で1回のみの実施であった。 ・研究授業の立案・実施・振り返りに関する規定を作成し、各学科で計画的に実施できるようにする。また、研究授業後には評価項目に沿った適切なフィードバックを実施し、その後の授業に活かしていく。
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④3 2 1	・士会活動に参加をしているが、卒業生に対する卒後教育として明確な位置づけを行っていない。
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④3 2 1	
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④3 2 1	・学生便覧p.3学則第16～18条、p.10学則施行細則第2条、第5条～18条により明確にし、成績判定会議（運営会議）にて協議の上、校長が認定する。
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④3 2 1	
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④3 2 1	
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③2 1	・教員確保については、校長・総学科長を中心に学校全体として実施している。医師担当分野で確保に工夫をしている。
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③2 1	・教職員が一同に集い、各学科における学生アセスメントや指導に関する共有や検証、新たな指導方法の検討を行う機会を毎月持っている。 ・学生に対するアセスメントや指導に関する検討は行われているが、それを基にした指導の効果判定は十分できていない状況である。 ・学生の情報収集から指導、効果判定までの一連の流れを整理し、全体として指導に取り組む体制を整える。
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③2 1	・各学科で検討した内容をもとに研究授業を行い、教員同士での振り返りや意見交換を行った。 ・オンライン開催の研修会を中心に、様々な外部研修会に参加することができた。

(4) . 学修成果

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・就職率の向上が図られているか	④3 2 1	・就職率は100%である。 ・ST学科の合格率は全国平均を超える見込みである。
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③2 1	・入試結果の検討を行い、クラス及び個人への国語基礎力向上への工夫、学生面談、保護者との連携を行い退学率の低下に取り組んでいる。 ・学生が自分の特性と向き合う機会や体験を意図的に設けている。
・退学率の低減が図られているか	4 ③2 1	・卒業生は就労分野、在宅分野で活躍しているものが多い。
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④3 2 1	・卒業生の活動を学校教育へのフィードバックと捉え、整理する必要がある。卒業生の就労状況の把握を行っているが、完全にはできていない。
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	④3 2 1	・引き続き卒業生の就労状況の把握に努める。 ・社会で活躍する卒業生にオープンキャンパス等で話をしてもらう。

(5) . 学生支援

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	<p>・学籍簿、個人記録、健康記録を整理している。またその情報をITツールによって一元化したシステムを2023年度から稼働した。担任制を敷いているが、あくまでも窓口と考え、学生がいつでもだれにでも相談できるようにしている。</p> <p>・信頼できる不動産業者にアパート情報を提供していただいている。</p> <p>・入学式後の保護者懇談会、9月の保護者会・個別面談を開催するなど、保護者との連携を務めている。</p> <p>・卒業生が相談に来ることが多く、積極的に対応している。</p> <p>・NPO法人と連携して主に留学生の居住支援を行っている。</p> <p>・高校などに医療福祉職の紹介や出張講義を行っており、より多くの学生が福祉に関心を持つように工夫している。</p> <p>・県作業療法士会と連携し、卒業前に職能団体の活動意義について説明する機会を持ち、卒後の生涯学習への意識を高めるように工夫している。</p> <p>・学生に関する情報について各記録を備えており、教務事務支援・学生情報共有システムでのデータ一元化を行い、2023年度から稼働した。各種データが完全に揃ってはならず、部分的な活用になっている。</p> <p>・学生情報共有システムへのデータ蓄積を行い、適切な運用を目指す。その上で学生情報を全教職員が共有し、効果的な支援を行う。</p> <p>・卒業生への支援が不十分だと感じている。</p> <p>・卒業生向けの情報をホームページに掲載する。</p> <p>・卒業生の卒後教育について、一層士会と連携していく。</p>
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1	
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1	
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1	

(6) . 教育環境

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1	<p>・全館Wi-Fi整備し、学生がいつでも情報を入手し、授業でも活用できる環境を整えている。</p> <p>・教育機器（PC）の計画的な更新を行っている。</p> <p>・全学科・学年の教室に電子黒板を設置し、授業や学生の自習に活用されている。また、VRによる解剖学学習システムを学生の自学自習に活用できるようにしているが、学生の利用率はまだ低い状況にある。</p> <p>・解剖学学習システムについては授業や個別指導での使用体験を増やし、学生自ら学ぶ意欲を持てるよう支援する。</p> <p>・DX化に合わせ、学内のPC管理を徹底する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外部の病院・施設の実習はほぼ従来通り実施できるようになった。</p> <p>・消火訓練では留学生在が消火器使用未体験のため、水を使ったデモ用消火器を使用し消火訓練を実施した。日本での生活を送る上で大切な経験を得る機会を提供できた。</p> <p>・防災マニュアルが不十分であるため、早急に整備していく。</p>
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1	
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1	

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1	<p>・学生募集は、誇大表現することなく適正に行っているが、教育成果を伝えきれていない。学納金は、募集要項に記載したもの以外徴収していない。学納金については全国的にみて、最も安い学校に位置しているが、その妥当性を検討し、2024年度より作業療法・言語聴覚学科では教育充実費として年間5万円の徴収を行うことが決定した。</p> <p>・保護者に対して教育充実費の徴収については保護者会と書面にて案内している。本校の教育方針とその成果に見合う学納金について引き続き保護者の理解と協力を得ていく必要がある。</p> <p>・学納金の情報はホームページ、学生便覧などで適切に記載する。保護者からの問い合わせがあった場合は丁寧に対応する。</p>
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1	
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	

(8) . 財務

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1	<p>・法人全体では財務基盤は安定しており、現在はその力を借りて運営している。</p> <p>・法人として法令に従い情報公開している。</p> <p>・学校全体としての学生充足率は高まっているが、定員を満たしていない。</p> <p>・教員の教育活動における経費の認識が不十分で経費負担の所在が不明確な部分があった。</p> <p>・教員の経費に関する意識を高めるとともに、数年内での黒字化を目指して学生募集に注力する。</p> <p>・節電委員会を中心に検討を行い、学生にも節電意識を持つよう呼びかけながら少しでも経費削減に努める。</p>
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	

(9) . 法令等の遵守

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④3 2 1	・法令を遵守し、適性に運営している。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4③2 1	・個人情報の中でも、成績についてはPC上で保存していない。
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④3 2 1	・自己評価については、専修学校学校評価ガイドラインに沿って実施し、問題点の改善に努めてきた。自己評価及び学校関係者評価結果は学校HP上で公表を行っている。
・自己評価結果を公開しているか	④3 2 1	・教務事務支援・学生情報共有システム活用においては、役職及び担当業務によって権限設定を行っている。権限設定や情報の活用ルールについては年度ごとに見直す必要がある。 ・学内の状況にあわせ、随時見直しと周知徹底を行う。

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④3 2 1	・コロナ禍において実施できていなかったバスツアーをサンビレッジ岐阜の協力のもとで開催し、高校生を始めとした様々な方に医療福祉の実際を知っていただくことができた。また、池田小学校4年生の総合学習の一環で、本校における体験授業を行った。6月には車いすツインバスケットの体験会を開催した。10月には陽の里まつりを4年ぶりに開催した。リハビリセンター白鳥との共同開催で、利用者や地域の方々にも参加していただき、学生の日頃の学びを活かした展示や発表を行うなどの地域貢献を行った。 ・今年度も白鳥地区の方から、狂俳作りの指導していただき、地域との連携をもつことができた。 ・3月には初の開催となるキャリアセミナーをサンビレッジ岐阜の協力のもとで開催した。高校生に職業選択の一助となるような体験重視のセミナーを実施することができた。 ・作業療法学科教員と法人スタッフとによるドライビングサポートクラブ（どらサポ）を開催した。  ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、従来から実施してきた様々な行事の開催、イベントへの参画を再開できた。今後は従来の活動に加え、新たな地域貢献の方法を模索していく必要がある。 ・地域の方々へ本校の強みを活かした新たな社会活動を検討し、実行していく。  ・2024年度には岐阜県専修学校各種学校連合会による講師派遣事業として、江崎禎英氏をお招きする予定である。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④3 2 1	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々にボランティア募集が来るようになり、参加を促すことができた。学生も可能な範囲で参加することができた。
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④3 2 1	・社会人学生に対して離職者等委託訓練実施事業を実施している。 ・揖斐川町と連携し、医療・福祉に関心を持つ地域の高校生（揖斐高校生及び池田高校生）のためのワークショップに参画、参加した ・職業訓練生募集について、ハローワーク及び県事務所への継続的な訪問と併せ、学校全体で検討を行って対応した。 ・7月3日には岐阜県介護人材キャリアパス支援事業として「介護現場で働く職員のための最先端福祉機器展」を開催し、8社からの出展があった。 ・12月3日には平林景氏をお迎えし、福祉・障害・介護の「ミライ」をテーマに講演していただいた。約50名ほどの参加があり、介護の現場や一般企業・県庁職員など幅広い方が参加された。 ・モレラ岐阜でのサマーパーク、カラフルタウン岐阜での福祉のお仕事魅力発信フェスタに参画し、医療・福祉分野の職業やその役割についての啓発を行った。

(11) . 国際交流

評価項目	評価区分	現状、課題及び改善点
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度入学予定の在日留学生はコロナ禍による入国制限緩和後に来日した学生であるが、本校へのオープンキャンパス参加者は前年比3.5倍となる119名であった。入試受験者は35名であった。このうち海外からの受験生2名、特定技能実習生からの受験生1名を含め27名が入学となった。また、入学となった学生の入学希望のきっかけは、在校生や卒業生からの紹介及び在校生出身日本語学校からの紹介が多くを占めた。</li> </ul>
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	④ 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学希望者の増加に合わせ、奨学金提供施設の募集を行った。施設長・人事担当者の本校見学会を行い、留学生と日本人が共に学ぶ意義を理解いただいた。その結果、本校が学生に紹介する奨学金提供施設が6施設から14施設と増えた。</li> </ul>
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度入学予定の学年（2024年度日本語学校最終学年）は2024年度に比べ4割程となるため海外からの入学生確保対策を実施した。</li> <li>・在籍管理についてはITツールの他学生記載の個票を用い確実に実施している。</li> </ul>
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	該当せず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度に入学した11名の留学生が全員卒業した。</li> <li>・留学生への納税の義務をはじめとする日本のルールの指導にはまだまだ、多くの指導が必要であった。</li> <li>・入学後の生活の安定化のためにコープの学生総合共済（個人賠償責任保険追加加入）への留学生全員の加入を推し進めた。手続き支援の事務量が多いうえに、毎月口座引き落としのため、途中で失効となった学生が3名でた。</li> <li>・介護2年留学生に対する国家試験対策を年間を通し実施。しかしながら、コロナ下での入学生で日本語基礎力に課題のある学生もいたため、指導に苦慮した。</li> <li>・本校に入学してから実施している日本語能力試験（模試）のN4の得点と国家試験模試結果に相関がみられた。</li> <li>・国試再受験となる既卒生に対し、Zoomを活用した指導や模擬試験送付などで対応を行った。</li> <li>・昨年度とは留学生を取り巻く状況が異なり、状況に応じて入試を実施していた。そのため、手続きや奨学金の手配などを見通しをもって行うことができなかった。</li> <li>・留学生の日本語基礎力の重要性に対する認識を早期に高め、適宜可能な対策をとっていく必要がある。</li> <li>・学生総合共済の掛け金が口座引き落としのため、未加入状態となる学生がでないよう、こまめに声をかけるなど必要な対策をしていく。</li> <li>・働きながら学ぶ既卒生が、国試合格に対する意識を継続して持ち続けることが難しい。</li> <li>・毎年留学生を取り巻く状況が変わることを前提にどのような状況になっても対応できるよう準備する。</li> <li>・留学生の生活支援・学習支援について、その必要な支援の内容と量を明確にし、それぞれについて達成目標と方法、期日を教職員で共有することによって着実な業務遂行に努める。</li> <li>・外国人特別入試を2回と決め、施設奨学金の手配などにかかる期間を短縮する。</li> </ul>